

1面 5月臨時会ダイジェスト
6月定例会ダイジェスト

2面
ピックアッ本会議

3面
ピックアップ委員会
本会議・委員会を傍聴しませんか
県議会だよりに寄せられたご意見

4面
委員会の新しい構成
県議会公式Twitterフォローキャンペーン
写真コンクール「夏の部」入選作品
題字コンクール作品募集
写真コンクール作品募集
県議会クイズ

令和5年8月20日(日)

静岡縣議會だより

令和4年度県議会だより題字コンクール 特選作品 作者/徳永 彩心さん(浜松湖南高校)



令和4年度県議会だより写真コンクール 夏の部特選「盛夏」

撮影者/吉野 昌宏さん(裾野市) 撮影地/裾野市

5月臨時会ダイジェスト

5月19日、5月臨時会を開催しました。初めに正副議長選挙を行い、中沢公彦議長と鈴木澄美副議長を選出、続いて常任委員会と議会運営委員会の委員等を選任するとともに、静岡地方税滞納整理機構議会の選挙を行いました。また、知事から提出された監査委員の選任議案について同意しました。

選出された正副議長



第116代 議長
中沢 公彦



第122代 副議長
鈴木 澄美

6月定例会ダイジェスト

6月定例会は、6月23日から7月13日までの21日間開催しました。開会日に知事から28議案が提出され、一般会計補正予算など緊急を要する3議案について、常任委員会での審査を経て同日可決しました。

代表質問及び一般質問では13人の議員が発壇し、知事の政治姿勢や激甚化・頻発化する豪雨災害への対応、物価高騰対策など県政全般にわたり活発な議論を交わしました。6月29日には、地域公共交通対策と子どもの孤立対策の2つの特別委員会の設置等を行いました。

その後、7つの常任委員会で議案の詳細な審査を行い、建設委員会では、伊豆地域における有料道路事業について、ETC専用レーンの早期導入等を求める附帯決議を可決しました。

7月12日の本会議では、各常任委員長が審査結果の報告の後、討論を経て、25議案を原案どおり可決または同意するとともに、国に対する5件の意見書案が提出され、全て可決しました。

その後知事から、令和3年11月の辞職勧告決議を受けた際に表明した自身の給与と期末手当の返上に関して報告があり、質疑を行いました。

これを受けて、議員から「川勝平太知事に対する不信任決議案」が提出され、

7月13日午前0時過ぎの本会議において、記名投票の結果、賛成50票、反対18票で可決に必要な51票(出席議員の4分の3以上)を下回り否決しました。

※記名投票の各議員の賛否は2面に掲載。
※知事に対する不信任決議案の提出は50年ぶり。
※午前0時を越えての本会議は68年ぶり。



知事不信任決議案の記名投票 (動画は二次元コードから)

6月定例会 可決した主な議案

◆令和5年度一般会計補正予算 93億100万円

主な事業

- 物価高克服に向けた追加策 <92億3500万円>
 - ・エネルギー価格高騰の影響を受ける消費者の負担軽減を図るため、LPガス料金の値引きを行うための経費の助成(新規)
 - ・エネルギー価格高騰の影響を受ける事業者の事業継続を支援するため、中小企業等に対する電気料金の助成(新規) ほか
- その他<6600万円>
 - ・令和4年台風15号被災中小企業の再建支援 ほか

意見書(件名)

- ◎頻発化する線状降水帯の発生に対する災害復旧事業の強化を求める意見書
- ◎国民皆歯科健診の実現を求める意見書
- ◎保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書
- ◎新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する取組の強化を求める意見書
- ◎特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

県議会ホームページのご案内

議会の日程や質問議員・項目、インターネット中継、キッズサイト、議員の紹介、本会議や委員会の会議録などを掲載しています。



インターネット版県議会だよりのご案内

パソコンやスマホでもご覧いただけます。(音声による「声の県議会だより」もあります。)



県議会公式 Twitterのご案内

議会の情報をいち早くお届けします。





ピックアップ 本会議

6月定例会本会議の質問と答弁から

代表質問



6月28日午前
勝俣 昇
(自民改革会議)



6月28日午後
田岡 章
(ふじのくに県民クラブ)



6月29日午前
蓮池 章平
(公明党静岡県議団)



一般質問



6月29日午後
山本 隆久
(無所属)



6月29日午後
大石 健司
(自民改革会議)



6月29日午後
木内 満
(自民改革会議)



6月30日午前
望月香世子
(自民改革会議)



6月30日午前
沢田 智文
(ふじのくに県民クラブ)



6月30日午後
曳田 卓
(ふじのくに県民クラブ)



6月30日午後
加畑 毅
(自民改革会議)



7月3日午後
佐地 茂人
(自民改革会議)



7月3日午後
小長井由雄
(ふじのくに県民クラブ)



7月3日午後
天野 一
(自民改革会議)



※二次元コードから各議員の質問の録画中継をご覧ください

「議案に対する各会派等の賛否」 については、こちら



川勝平太知事に対する不信任決議案

記名投票の各議員の賛否

可決に必要な51票(出席議員の4分の3以上)を下回り否決した。

白票(賛成) 50人

伊藤 謙一	山本 彰彦	加藤 祐喜	赤堀 慎吾
河原崎 全	天野多美子	加畑 毅	岩田 徹也
大石 健司	望月香世子	小沼 秀朗	杉本 好重
勝俣 昇	伊丹 雅治	牧野 正史	山本 隆久
桜井 勝郎	遠藤 行洋	塚本 大盛	月寿 美城
鈴木 澄美	土屋 源由	佐地 茂人	中田 治久
江間 治人	河原崎 聖	藤曲 敬宏	野田 明美
木内 満	坪内 秀樹	飯田 末夫	西原 相坂
市川 秀之	鈴木 啓嗣	鳥澤 由克	相沢 正美
増田 享大	良知 淳行	和田 篤夫	宮沢 利幸
竹内 良訓	落合 慎悟	中沢 公彦	鈴木 利幸
杉山 盛雄	植田 徹	中谷 多加二	天野 一
早川 育子	蓮池 章平		

青票(反対) 18人

中山 真珠	松井 優介	鈴木 唯記子	杉山 淳
沢田 智文	良知 駿一	川崎 和子	田中 照彦
伊藤 和子	伴 卓	大石 哲司	田内 浩之
田口 章	小長井由雄	佐野 愛子	阿部 卓也
曳田 卓	四本 康久		

議員名は議席番号順に掲載

行政

特別委員会の提言への対応

Q 逢初川土石流災害に係る行政対応の再検証を求め、提言への対応は。

A 砂防法や森林法等、新たに指摘された論点について、対象法令の所管課等を構成し、裁判の場で説明が進められているものを除いて徹底した検証を行う。検証結果は、検証の過程も含めて公表し、令和5年9月定例会を目

産業

県内企業の労働力確保

Q 労働力不足が深刻になる予測される中、県内外の若者に本県企業の魅力をPRする必要があるが、今後の取り組みは。

A 本県で暮らし、働くことへの興味・関心を促す情報提供を継続的に行いつつ、今年度は新たに、大学生の目線で本県企業の魅力を伝える企業情報誌を発行するなど、情報の充実を図る。また、こ

くらし・環境

リニア中央新幹線課題解決の方策

Q 建設促進と水資源の保全等の両立という課題を解決するため、JR東海社長とのトップ会談を行う考えは。

A 本県はリニア中央新幹線の整備に賛成だが水資源や自然環境が犠牲になつてはならず、本県の指摘事項に対してJR東海は納得できる回答を出す義務がある。まずは、県専門部会等で実務的に科学的・工学的な議論を進めることが重要であるが、トップ会談は難局打開や信頼醸成のためにも重要で大変有意義なことであるため、トップ会談の開催も念頭に対話を進める。

医療・福祉

ひとり親家庭に対する支援

Q 物価が高騰する中、経済的基盤が弱いひとり親家庭に対する支援は。

A 経済的支援として児童扶養手当受給者へ特別給付金を支給するとともに、貸付金制度を拡充した。就業的支援では「ひとり親サポートセンター」で就業相談等を実施し、企業に対しては、ひとり親の方が希望する就業条件に合った求人枠を確保するよう協力を求めている。各種支援制度を掲載した「ひとり親家庭のしおり」やLINEでの情報発信・相談により一人一人に確実に情報を伝えていく。



学生による企業情報誌発行の勉強会

安全・安心

「わたしの避難計画」の普及

Q 県民一人一人の避難行動の助けとなる「わたしの避難計画」の普及に向けた取り組みは。

A 地域の防災士等を「わたしの避難計画」として養成し、地域の防災訓練等において県民の皆様の計画作成を支援



援していく。また、普及に継続的に取り組む市町に対して、自主防災組織の活動経費などへの補助率を引き上げ、財政支援する。さらに、学校現場との連携により家庭への普及を図るため、今年度から「ジュニア防災士養成講座」においても計画作成に取り組む。

用語解説

わたしの避難計画
身の回りの災害リスクに備えて、「このタイミングでどこに避難するか」あらかじめ整理するため、各自が作成。通称「わたひな」。



「わたしの避難計画」作成フォーム例

盛土条例施行後の状況と今後の対応

Q 条例施行1年経過後の現状認識と条例運用から派生した諸課題への対応は。

A 条例施行に合わせ設置した「盛り土110番」に寄せられた通報のうち不適切盛り土については、迅速な是正指導により直ちに土砂の搬入を停止させた。市町及び警察との連携を強化し、悪質な事業者に対応することで大きな抑制効果を挙げている。運用面では、土壌分析調査の簡素化や県内8土木事務所への窓口設置など、条例の目的を損なうことなく、より円滑に施行できるように運用の改善を図る。



盛り土110番への通報を受け現地を確認している様子

教育

小中学校における働き方改革

Q 教員の長時間勤務解消に向けた業務改善方策は。

A 令和5年度から「業務改善」を全校に配置し、「業務改善」を全校に配置し、学校間で課題や手法を共有し、効果が高い改革手法は全県で展開する。また、県等からの文書の削減、クラウドを活用した文書の共有、生成AIやデジタル採点システムの導入等、教育DXによる働き方改革を加速する。さらに、市町や地域、保護者と連携し、学校・教員が担ってきた役割や業務の見直しを進め、県民理解を得るための発信等を行う。

用語解説

業務改善「夢」コーディネーター
各小中学校の業務改善を推進するコーディネーター。若手教員から選出され、持続可能な業務改善の実現を目指し、新しい視点や発想から業務改善に取り組むとともに、好事例の共有・啓発を行う。

不登校の子どもたちへの支援

Q 不登校の子どもたちの学びの場としてフリースクール

ールへの支援を早急に検討すべきでは。

A 不登校者数が増える中、フリースクールの役割はますます重要となっており、公的な支援が必要である。民間施設への支援の制度設計を国へ働き掛けるとともに、県市町、学識経験者、フリースクール等の関係者が協議する場を設け、フリースクールの授業料、利用者数等の実態や児童生徒が直面する課題等を十分に把握し、令和6年度以降の支援策を検討していく。

文化・観光

SPACの評価と今後の在り方

Q 県立劇団SPACの県民認知度の受け止めと今後の在り方への考えは。

A 国際的評価は高いが、PR不足等により県民認知度は29.3%にとどまる。SPACを核に演劇を活性化して人材育成や観光活用等に取組むとともに、今年度は東アジア文化都市2023静岡県の広報アンバサダーに起用し、知名度向上を図る。専用使用する舞台芸術公園でのイベント実施や園内ミュージアム開設による観光利用を進めるなど一般利用の可能性についても議論を深めていく。

スポーツコミッションの推進

Q 「スポーツコミッション Shizuoka」の取り組みは。

A 4月の設立以降、地域のスポーツコミッションと連携し、大会・合宿誘致の広域的調整に取り組む、7月に

福岡で開催される世界水泳選手権へ出場する海外チームの県内合宿等の誘致に成功した後、スポーツ施設はもとより、豊かな自然環境、交通アクセスなど本県の魅力を周知するHPを立ち上げるほか、首都圏等でのプロモーション活動を展開し、スポーツを通じた地域と経済の活性化を推進していく。

観光デジタル情報の利活用

Q 観光需要の回復に向けた観光データの利活用策は。

A 多様化する旅行者ニーズに対応するため、令和4年度に観光アプリTIPSを用いて位置情報等の旅行データを取得・分析し、結果を市町や観光事業者等に還元することで、市町等が提供するサービスや販売促進策を見直す契機となった。令和5年度はデータ活用が進んでいない市町に専門家を派遣し、旅行者の属性や周遊データ等を総合的に分析し、地域のマーケティング強化と戦略的誘客につなげる取り組みを支援する。

用語解説

観光アプリTIPS
県の公式観光アプリ。TIPS (ティップス) と Tourism Information Platform of Shizuoka の略。県内の観光施設紹介や経路検索、プッシュ通知による情報発信のほか、旅行者の性別や年代区分に応じた嗜好等も把握できる。



観光アプリTIPSの画面

ピックアップ委員会 ～常任委員会での質問と答弁から～

総務委員会

Q 知事の給与返上発言に関し、返上しなかった理由及び知事からの相談の有無は。

A 知事自身が熟慮した結果、常に辞職勧告決議を突きつけられていることを肝に銘じながら、県民全てのために公人として職責を果たすべきと判断したと認識している。事務方への相談はなかったが、知事に対して積極的に進言を行わなかった点は配慮が足りなかったと反省している。

厚生委員会

Q 医学修学研修資金を利用した学生が卒業後県内病院に勤務することで返還免除となる制度の効果は。

A 免除の対象となる病院は公的病院だけでなく救命救急センター等を含めた民間病院にも拡充しており、現在55病院である。また、浜松医科大学等と調整し、医師少数区域への勤務を促すなど医師不足および医師偏在の解消に一定の効果があったと考える。

産業委員会

Q 新食肉センター整備計画でECI方式を採用した目的および効果は。

A 操業している現食肉センターの敷地内で、衛生状況を確保しながら行う難易度の高い新築、増改築工事であり、国の事業要件である工期等の多くの課題に対応するため、ECI方式を採用した。事業の設計段階から施工者の技術力を反映させることでコスト削減と工期短縮を図る。

文化観光委員会

Q 黄金KAI DOプロジェクトによる観光誘客の取り組みは。

A 静岡、山梨、長野、新潟の四県が一体となり、金山や金をテーマに域内の周遊促進を図る。高速道路が乗り放題となるドライブプランの販売、御朱印や御城印などを収集する旅のキャンペーン等を実施する。周遊観光ルート



新食肉センターイメージ

建設委員会

Q 伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収の延長理由は。

A 無料化に伴う交通量増加による大規模修繕が見込まれる

ことから料金徴収期限を延長する。あわせて有料道路事業を活用した静岡バイパスの整備により交通分散を図り、伊豆縦貫自動車道の一部の役割を担う道路として高速性、定時性を確保するとともに、適切な維持管理を行っていく。

文教警察委員会

Q 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な信号機等の基準を定める条例」の改正内容とその周知方法は。

A 道路交通法の改正に伴い、最高速度が時速6キロ以下で走行する電動キックボード等が、歩車分離式信号機の歩行者用信号に従い歩道を行くことができることとした。販売業者等と連携し、あらゆる機会を通じて通行方法を周知する。

本会議・委員会を傍聴しませんか

9月定例会	
開会	9月21日
質問	9月26日・27日・28日 29日・10月2日
常任委員会	10月4日・5日・6日
閉会	10月13日

※日程は、今後変更になる場合があります。
本会議、委員会ともに県庁本館4階で傍聴できます。
(日程および傍聴に関する問い合わせ先
県議会事務局議事課 TEL 054-221-3481)



傍聴案内動画

県議会だより(2月定例会号)に寄せられたご意見

- 保育園の事故を聞かされた時に心が痛みます。保育士は日々子どもたちの安全と健全な成長を願って頑張っていますが、配置基準がずっと以前のもので現状にあてはまらないと思います。保育現場の労働環境改善は急務ですね。
- 定員割れ高校が増えている中、地域の特色を生かした高校にしていく案は、過疎地域に住む人間にとって本当に安心して生活できる手段ですね。若い人達がいる事により、街も活性化されます。少し希望が持てました。

委員会の新しい構成

常任委員会 (◎印は委員長 ○印は副委員長 氏名の後の○数字は期数 ()内は選挙区)
自=自民改革会議 ふ=ふじのくに県民クラブ 公=公明党静岡県議団 無=無所属



総務 定数10人	◎西原明美 ^② (藤枝市)	◎小沼秀朗 ^② (掛川市)	◎牧野正史 ^② (静岡市駿河区)	鳥澤由克 ^④ (裾野市)	河原崎聖 ^③ (島田市・川根本町)	◎赤堀慎吾 ^① (菊川市)	◎中沢公彦 ^⑤ (浜松市東区)	◎伴卓 ^③ (富士市)	◎松井優介 ^① (静岡市清水区)	◎伊藤謙一 ^① (袋井市・森町)
危機管理 くらし環境 定数10人	◎大石哲司 ^④ (浜松市東区)	◎野田治久 ^③ (伊豆市)	◎飯田末夫 ^② (浜松市南区)	◎土屋源由 ^④ (伊豆の国市)	◎天野一 ^⑩ (静岡市葵区)	◎落合慎悟 ^⑤ (藤枝市)	◎河原崎全 ^① (御前崎市)	◎田口章 ^④ (浜松市西区)	◎蓮池章平 ^⑦ (沼津市)	◎中山真珠 ^① (静岡市清水区)
文化観光 定数9人	◎鈴木啓嗣 ^② (浜松市西区)	◎大石健司 ^② (牧之原市・吉田町)	◎杉山淳 ^② (静岡市駿河区)	◎加藤祐喜 ^① (長泉町)	◎杉山盛雄 ^⑦ (沼津市)	◎良知淳行 ^④ (焼津市)	◎四本康久 ^④ (富士宮市)	◎遠藤行洋 ^③ (静岡市葵区)	◎桜井勝郎 ^③ (島田市・川根本町)	
厚生 定数10人	◎伊丹雅治 ^② (三島市)	◎坪内秀樹 ^③ (清水町)	◎良知駿一 ^② (浜松市北区)	◎岩田徹也 ^① (函南町)	◎鈴木澄美 ^④ (富士市)	◎相坂摂治 ^④ (静岡市駿河区)	◎竹内良訓 ^⑤ (浜松市中区)	◎曳田卓 ^④ (沼津市)	◎盛月寿美 ^④ (静岡市清水区)	◎塚本大 ^③ (焼津市)
産業 定数10人	◎市川秀之 ^② (浜松市浜北区)	◎勝俣昇 ^② (御殿場市・小山町)	◎沢田智文 ^② (磐田市)	◎加畑毅 ^① (下田市・賀茂郡)	◎宮沢正美 ^⑤ (三島市)	◎増田享大 ^④ (掛川市)	◎鈴木利幸 ^⑦ (浜松市北区)	◎佐野愛子 ^⑥ (藤枝市)	◎鈴木唯記子 ^① (浜松市中区)	◎山本彰彦 ^① (静岡市葵区)
建設 定数9人	◎阿部卓也 ^⑤ (浜松市浜北区)	◎藤曲敬宏 ^③ (熱海市)	◎杉本好重 ^② (浜松市中区)	◎中田次城 ^④ (伊東市)	◎佐地茂人 ^④ (静岡市駿河区)	◎中谷多加二 ^⑧ (浜松市天竜区)	◎川崎和子 ^① (磐田市)	◎田内浩之 ^④ (湖西市)	◎山本隆久 ^② (浜松市南区)	
文教警察 定数10人	◎木内満 ^③ (富士宮市)	◎望月香世子 ^② (静岡市清水区)	◎伊藤和子 ^② (袋井市・森町)	◎和田篤夫 ^④ (御殿場市・小山町)	◎植田徹 ^⑧ (富士市)	◎天野多美子 ^① (静岡市葵区)	◎江間治人 ^③ (磐田市)	◎小長井由雄 ^⑥ (静岡市葵区)	◎田中照彦 ^① (浜松市中区)	◎早川育子 ^⑥ (富士市)

特別委員会 (◎印は委員長 ○印は副委員長)	
地域公共交通対策 定数10人	◎宮沢正美 ○坪内秀樹 ◎阿部卓也 ○藤曲敬宏 ◎相坂摂治 ○西原明美 ◎杉本好重 ○飯田末夫 ◎良知駿一 ○牧野正史
子どもの孤立対策 定数10人	◎鳥澤由克 ○佐地茂人 ◎鈴木啓嗣 ○勝俣昇 ◎天野卓 ○望月香世子 ◎伴卓 ○佐野愛子 ◎沢田智文 ○早川育子
議会運営委員会 (◎印は委員長 ○印は副委員長)	
定数11人	◎和田篤夫 ○佐地茂人 ◎曳田卓 ○坪内秀樹 ◎勝俣昇 ○望月香世子 ◎小沼秀朗 ○鈴木利幸 ◎小長井由雄 ○伊藤和子 ◎盛月寿美

県議会公式Twitterフォローキャンペーン 静岡県議会ではTwitterを開設し、最新の情報をお届けしています。

10月1日(日)まで、フォローキャンペーンを実施中です!
応募者の中から抽選で20名の方に「静岡抹茶バウムクーヘンCHIYOの和」をプレゼントします。ぜひご参加ください!

応募方法
①県議会公式Twitter(@gikai_shizuoka)をフォロー
②フォローキャンペーンの対象ツイートをリツイート





令和4年度 写真コンクール 「夏の部」入選作品

「メロンの街を通過」
撮影者/塚本三千夫さん(袋井市)

「旅の思い出」
撮影者/大塚美代子さん(静岡市葵区)

撮影地/賀茂郡西伊豆町

★あなたの作品が県議会だよりの表紙を飾ります★

令和5年度 写真コンクール作品募集

「しずおか県議会だよりの表紙に」または「静岡県議会だよりの表紙に」(右記2つの横書きに限りません。)

対象
静岡県内在住または静岡県内の学校に通学している高校生相当年齢の生徒

募集部門
春、夏、秋、冬の4部門

応募方法
四つ切またはA4サイズのカラープリント
※写真の向きは縦向きのみ
お一人4点以内で未発表作品に限ります。
作品ごとに、タイトル、撮影場所、応募する部門、住所、氏名、電話番号、学生の場合は学校名を紙に記入し、作品の裏面に貼ってください。様式は問いません。

賞
特選4点(各部門1点ずつ)
選出4点(各部門2点ずつ)
入賞者には賞状と副賞を授与します。
※入賞者には賞状と副賞を授与します。

注意事項
●応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
●被写体個人が特定される写真については、おおよそ静岡県議会の各種広報へ掲載される旨の了解を撮影者において事前に得てください。
●静岡県議会は、入賞作品を「静岡県議会だよりの表紙に」および「静岡県議会広報」のために、優先的に使用する権利を2年間を限度に保有します。使用に当たっては撮影者の氏名を表示します。
●静岡県議会ホームページに掲載した入賞作品は、後日、撮影原稿(ネガまたはポジティブ)を提出していただきます。
●入賞作品の撮影原稿(ネガまたはポジティブ)は、静岡県議会の使用期間満了後、入賞者に返却いたします。
●データは返却いたしません。
●応募作品の返却はいたしません。

締め切り
令和6年1月31日(水) ※当日消印有効

発表
令和6年3月に入賞者へお知らせします。また、「静岡県議会だよりの表紙に」および「静岡県議会ホームページ」で発表します。

共通事項
●題字・写真コンクール
●応募先・問い合わせ先
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
静岡県議会事務局 政策調査課
電話番号 054-221-2388

県議会クイズ

6月定例会では、今後起こりうる災害に備えて、県民一人一人が「どのタイミングでどこに」避難するかを事前に整理するため作成する「〇〇〇の避難計画」の普及に向けた取り組みについて質問がありました。

※〇に該当するひらがな3文字をお答えください。(ヒントは2面にあります)

《応募要領等》
①答え②住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、③県議会だよりの感想や県議会へのご意見を添えて、9月4日(月)までに下記の政策調査課へ、ハガキ、FAX、Eメール又は応募フォームでご応募ください。
正解者の中から抽選で20名の方に、「静岡県産 ゆら早生みかん5kg」をお送りいたします。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※個人情報商品の発送と読者層の調査のために使用します。

《クイズ景品のご紹介》
「ゆら早生みかん」は、9月下旬〜11月上旬に収穫される極早生みかん。見た目は青くても中は熟して、濃厚な甘みとコクの中に爽やかな酸味も感じられる、ジューシーで味の濃いみかんです。今回は静岡県産のゆら早生みかんをお届けします。

